

評価及び取組報告書

令和7年1月21日

平塚市立江陽中学校

学校長 山崎 幸子

次のとおりわかば環境ISOの取組結果を報告します。

評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・節水に心がけ、水の出しっぱなしはしない。 ・紙の節約を心がけ、両面印刷・2面連写印刷をする。	・教室に不在の時は、消灯する。 ・扇風機を消し忘れない。 ・エアコンの使用について、設定温度や使用時間に気を付け、適切に利用する。	・ごみの分別収集を推進して、リユース・リデュース・リサイクルを心がける。 ・水筒の補充のためにペットボトルを持参する際は、容器を持ち帰る。

独自メニュー

- ・保健委員会の活動を通して、節電・節水・ごみの分別・古紙リサイクルの呼びかけを各学級で行う。
- ・学校生活の状況を調査し、取り組みの確認をすることで、環境ISO活動についての意識向上を図る。
- ・清掃活動を通して、環境の美化への意識を高めると共に、日頃から、身の回りの整理整頓に努める。
- ・夏季休業中には「ひらつかCO2CO2（コツコツ）プラン」への参加を呼びかける。
- ・使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収によるリサイクル



【保健委員会によるポスターでの呼びかけ】



【ごみの分別のため各教室に設置されたゴミ箱】



【使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収】

評価及び取組報告書

令和 7 年 1 月 14 日

平塚市立太洋中学校

学校長 平出 善男

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。

評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・節水を呼びかける ・節紙を呼びかける ・物を大切に使う	・節電を呼びかける ・エアコン使用量の削減をする ・消灯確認をする	・環境 ISO ボックスを利用して古紙の回収をする ・ペットボトル、プラスチックなど資源ごみの分別を呼びかける

独自メニュー

- ・「エコロン」というキャラクターを用いて節電や節水を呼びかける表示を作成し流し付近や電気のスイッチの近くに表示することで生徒への意識づけをしている。



- ・各教室に環境 ISO ボックスを設置し古紙回収をしている。個人情報に記載されたもの以外を資源ごみとしてまとめている。



- ・環境問題に関心が持てるよう、大きなサイズの目標ポスターを作成し、生徒の往来がある場所に掲示している。



- ・毎月テーマを考え、目標ポスターを作成し各教室に掲示している。



評価及び取組報告書

令和7年2月26日

平塚市立春日野中学校

学校長 鈴木 真吾

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
・水道水を無駄に使用しない。 ・裏紙をメモ用紙に使う。 ・職員に配布するプリントは裏紙を使用している。	・教室の電気を使用していないときは消す。 ・エアコンの設定温度を統一し、節電を行う。	・ごみをできるだけ減らす。 ・古紙の再生化に協力する。 ・エコキャップ回収活動。 ・リサイクルBOXを設置する。
独自メニュー		
リサイクルBOXの設置 → 厚生委員を中心に、各教室にリサイクルBOXを設置し、古紙の回収を行った。 ひらつかCO2CO2プランへの参加 → ひらつかCO2CO2プランを全校に呼びかけた。 牛乳パックのリサイクル → ミルク給食の際も学校給食が始まってからも、牛乳パックを洗って回収した。 エコキャップ運動 → 生徒会本部と福祉委員を中心にエコキャップ運動に参加し、今年度は約 58kg 集まり、CO2 削減量約 186.8kg になった。 インクカードリッジの回収 → 今年度もPTAが呼びかけをし、回収した。 ワールドギフト運動 → 生徒会本部を中心にワールドギフト運動に参加し、各家庭での不要な衣類とや文具等を回収、段ボール1箱分の物資の提供を行った。 花いっぱいきれいな学校計画 → 厚生委員は、「花いっぱい計画」として花壇の整備と花の植え付けに取り組んだ。 → PTAの花ボランティアの方々が花壇の整備と花の植え付けに取り組んだ。 エアコン設置による節電呼びかけ → 節電や設定温度の表示をわかりやすく表示し、節電に努めた。		

独自メニュー

【リサイクルBOXの設置】



【花いっぱいきれいな学校計画】



【エコキャップ収集】



【エアコンの温度設定】



評価及び取組報告書

2025年 2月13日

平塚市立浜岳中学校

校長 宮田 篤

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・紙の裏面利用、リサイクル ・両面印刷、両面コピーの推進 ・節水	・冷暖房の温度設定 ・節電	・紙、ペットボトル、びん、缶、プラクルなどの分別 ・リサイクルボックスの活用

独自メニュー

・「できたかなチェック」による意識調査・呼びかけ（達成率）

図1 1年生の報告

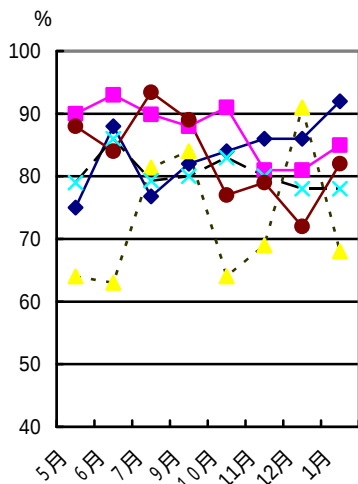


図2 2年生の報告

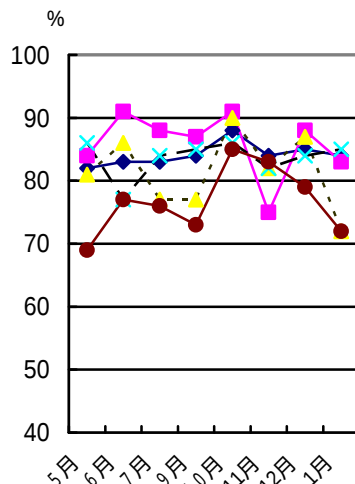
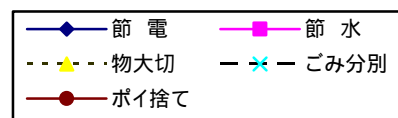
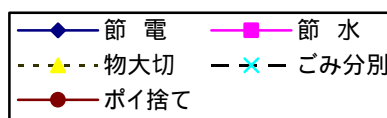
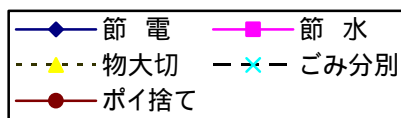
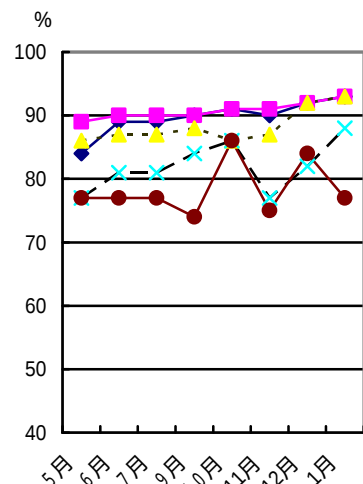


図3 3年生の報告



独自メニュー

共通/独自 CO₂CO₂プランへの取り組み //夏休みの自由研究との連携が独自

夏休みに取り組みを推奨し、取り組んだ。

共通/独自・資源回収BOXの活用 //他の独自との連携

各クラスにかごを配布し、回収後に、古紙回収向けか、裏紙として再利用できるか、仕分けし古紙回収分は重量チェック。(年間で約55kg分)

回収した裏紙は、クラスへの呼びかけのポスター用紙にしたり、委員会の会議資料を印刷する用紙に使ったりするなど、身近なところで再利用先を考えて実行することができた。

評価及び取組報告書

令和 7 年 2 月 21 日

平塚市立大野中 学校・園

学校(園)長 二戸 基明

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
・プリント類の両面印刷 ・裏面を利用したのプリント類の印刷 ・節水を呼びかけるポスターの掲示	・教室の蛍光灯のスイッチの職員・生徒によるこまめなチェック ・教室や廊下の蛍光灯のスイッチ横に設置している節電呼びかけ札のリニューアル	・リサイクルボックスの設置 ・分別用ごみ箱を設置しての、ごみの分別回収
独自メニュー		
《環境美化》 ・「平塚 CO2CO2 プラン」への参加呼びかけ ・環境美化 → 大掃除のある月に担任の指示を中心に、普段の学校生活では手の届かない部分などの清掃を行った。 ・生徒による外清掃 → 11月より、1クラスごとに、週替わりで実施した。清掃時間を利用して15分ほど短いながらも、熱心に落ち葉清掃を行う姿が見られた。1クラスごとでの実施にしたことで合計実施回数が多くなった。1月、2月になると落ち葉はほとんどなくなっていたが、敷地内のごみを拾う行動を行うことで、自分たちの学校をきれいに保つ、という意識を持つ機会にすることができた。 ・環境委員の生徒による花壇の整備 → 夏休み中に保護者やボランティアを募り草取りを実施した。夏休み明けには土作りをし、花植えも保護者に呼びかけ実施した。事前に花壇のデザインを決めたり、植える花を説明するような立札を作ったりなど、生徒たち自身が意欲的に取り組む場面が多く見られた。また、今年度も、学年ごとに自分たちの活動を訴えたりメッセージを伝えたりするオリジナルの立札を作成した。		
		
独自メニュー		



外清掃



花植え



節電の呼びかけ



裏紙使用の呼びかけ



立札設置



リサイクルボックス

評価及び取組報告書

令和6年 2月 7日

平塚市立神田中学校

学校長 桂山 賢二

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・ 普段の学校生活の中で、生徒会活動等を通じて電気、水道水、紙資源、ゴミの分別などの節約を心がけるよう働きかけています。	・ 年間を通して、エアコンや扇風機を効率よく使うことを目指しています。 ・ 電灯が適切に利用されているか確認をしています。	・ 職員室内では電子データの利用や印刷済みプリントの裏面利用等を行っています。

独自メニュー

- ・ 環境 ISO 週間を6月、2月に設定し、環境委員会の活動の1つとして、全校生徒に節水、節電の意識を高める活動を行いました。「環境 ISO 週間」では、帰りの会で節水・節電・ゴミの分別を行ったかどうかを学級全員に聞くことで、生徒の意識が高まるようにしました。
- ・ 長期休み前には環境美化週間を設け、普段清掃しない窓ガラスやクロム保管庫、清掃用具庫の中など、教室を中心として環境整備に取り組みました。
- ・ 12月には、校内美化作業として、環境委員会で落ち葉清掃を行い、校舎外の環境整備に取り組みました。
- ・ 月1回の専門委員会で毎月の反省と翌月の活動目標を検討し、改善を図り、校内における環境美化活動の意識を高めています。
- ・ 地域のイベントであるペットボトルイルミネーションへ参加することで、生徒一人一人がゴミ問題について考える機会を作ることができました。

ISO 週間チェックカード



落ち葉掃き清掃

評価及び取組報告書

2025 年 2 月 26 日

平塚市立土沢中学校

学校長 桑原 嘉明

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・紙を分別し、資源にする。 ・節水を心がける。 ・物を大切に使う。	・移動教室の際、教室の照明を消す。 ・夏季で扇風機を使わないときはこまめに消す。エアコンは起電力を考慮し、短時間の空きであればあえて消さないことで、電力量を抑えている。 ・冬季は室温を確認し、必要な時だけ暖房器具を使用する。	・なるべくゴミを出さない。 ・ゴミを分別して、プリント類はリサイクルする。 ・給食のプラクルの分別を行う。

独自メニュー

保健環境委員による ISO チェックカードを用いた環境調査

保健環境委員が中心となって月 2 回、各クラスで ISO チェックを行った。

チェック項目	使用していない教室の消灯はできたか。	節水に努めたか。
	ゴミの分別とリサイクルはできたか。	扇風機の消し忘れはなかったか。

I S O チェックカードをもとに定期的に各クラスで取り組み状況を振り返った。

各教室に温度計を設置し、エアコンの適切な使用を心掛けた。

各教室、職員室、印刷室に紙のリサイクルボックスを設置した。教室で出るプリント類は紙のリサイクルにまわした。また、印刷室等で出る A 4 サイズの紙類は、裏面の印刷が可能なものについて、なるべく裏面を利用するように努力した。

給食のプラクルの分別をしっかりと行った。

各クラスの取り組みについては I S O チェックカードでチェックし、各クラス・各担任で取組状況を振り返った。

水道水を無駄に使用しなかった。

ISO チェックの際に、リサイクルや分別、環境問題に関する話をした。

評価及び取組報告書

2025年2月6日

平塚市立金旭中学校

学校長 渡邊 容子

次のとおりわかば環境ISOの取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・紙の裏面利用 ・リサイクルボックスの活用 ・リサイクルボックスに入れられた紙を縛り、資源ゴミ置き場へ ・ストロー不使用	・節電（消灯点検・扇風機の消し忘れチェック） ・環境委員がクラスに呼びかけ	・リサイクルボックスの設置 ・分別収集（燃えるゴミ、プラクル） ・生徒のペットボトル・紙パックの持ち込み禁止 ・ストロー不使用

独自メニュー

- ・簡単清掃時のゴミゼロ運動の呼びかけ→帰りの学活を利用してクラスに呼びかけ

環境委員が毎日行っているもっとも基本的な活動の一つは、移動教室の時にクラスに消灯や扇風機のスイッチを切ることを呼びかけることです。簡単清掃の際には、帰りの学活を利用してゴミゼロ運動を呼びかけ、進んでゴミを拾ってもらえるよう心がけています。環境委員は、チェックシートで自らの活動を記録し、学年担当の先生に提出します。また、年度初めには、啓発ポスターを作成し、地球に優しい環境づくりに協力してもらえるよう工夫しています。

- ・校内環境整備（大掃除2回、ワックス塗り1回）
- ・消灯点検・ゴミゼロ運動
- ・落ち葉拾い（年1回）
- ・ポスター掲示による地球に優しい環境づくりへの呼びかけ

チェックシート



上記の活動はすべて環境委員会を中心に実施しています。

独自メニュー

・ 教室前のゴミ分別



教室前に分別用のゴミ箱を設置し、一人ひとりの意識向上を図っています。

・ 印刷室の裏紙入れ



使用できなくなった机の天板を再利用し、その中に裏紙を収納しています。

・ 職員室周辺のゴミ分別



職員室内のゴミも、プラクル、不燃物、乾電池などを分けて処理しています。

・ 職員座席の後ろのゴミ分別



職員室の職員座席後ろには、至る所に小さな分別用ゴミ箱を置いています。

評価及び取組報告書

令和7年2月3日

平塚市立中原中学校

学校長 工藤 直人

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・各教室に生徒作成の ISO BOX を設置し、紙資源の回収を促進 ・節水の呼びかけ ・紙の裏面利用や両面印刷の実施 ・封筒の再利用 ・裏紙をメモ用紙に活用 ・職員会議資料等のペーパーレス化	・冷暖房の設定温度に注意する ・使用していない教室の消灯 ・節電の呼びかけ ・個人のパソコンや印刷機におけるレジューム機能などの利用	・ごみの分別収集 (* ISO BOX の利用も含む) ・各教室にプラクル用と燃えるごみ用の 2 種類のゴミ箱を設置 ・長期休業中における職員室のごみ箱の撤去

独自メニュー

1) ISO BOX の設置



各クラスで資源となる紙を回収し、省資源とごみの減量化に努めている。

2) ごみの分別収集



「プラクル用」と「燃えるごみ用」の 2 種類のごみ箱を設置している。

3) 清掃用具の点検



定期的な点検により、清掃用具の破損を早期に発見・修理し、用具を最後まで有効活用できるようにしている。

4) 環境美化活動



環境福祉委員と有志生徒による落ち葉清掃を実施している。

評価及び取組報告書

令和7年 2月27日

平塚市立大住中学校

学校長 西浦 康裕

次のとおりわかば環境ISOの取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
資料の簡素化の推進 できるだけ両面印刷を心掛け、裏面も再利用する。 生活水の節水・節資源資料に努める。	校内で照明を使用しないときは消灯する。 印刷機は使用の都度電源を切り、その他の機器類は使用頻度が低くなった時点で電源を切る。 エアコンの設定温度は、夏は26～28度、冬は18～20度とし、適温になったら消す。	教室にリサイクルボックス、プラクルゴミ箱、職員室・印刷室にリサイクルボックス、分別ゴミ箱を設置し、分別を徹底する。

独自メニュー

清掃活動を活発にするための取組

→「清掃強調週間」を設置し、重点的に清掃するポイントを決めて実践する

- ・夏の資源ゴミ回収ボランティア活動（夏休みに保護者、ボランティア生徒、職員が参加）
→資源ゴミ回収に生徒の参加を呼び掛け広める
- ・全校生徒で校地内の清掃を実施
→第1回大住クリーン作戦（9月）気温上昇のため中止
- ・環境委員を中心にボランティアを募り、校地内の清掃を実施
→第2回大住クリーン作戦（12月）に37名が参加した
- ・環境委員によるISOスローガンの作成及び掲示



独自メニュー

- ・環境委員による節電・節水・節資源の推進
→ステッカーの作成と掲示、及び各教室に
リサイクルボックス・プラクル用ゴミ箱を設置
- ・環境委員によるリサイクル資源（紙ゴミ）・プラクルの回収（年間を通じての活動）
- ・ISO 週間（7月、12月）の実施
→節電・節水・リサイクルのISOチェックを一人一人チェックシートに記入し、提出
- ・「SDGs 節電・節水に関するクイズ」をテーマに環境委員会で映像を作成及び放映
- ・夏休みの課題として「ひらつかCO2CO2プランに参加しよう」を実施する



評価及び取組報告書

2025 年 1 月 24 日

平塚市立山城中学校

学校長 府川 麻友美

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
水を大切にする活動 ・節水の呼びかけ ・啓発ポスターの作成と掲示 ・印刷時の裏紙の利用	「エネルギー」を大切にする活動 ・移動教室時の消灯や大型モニター の電源オフの呼びかけ	職員室でのごみの分別の徹底 ・ペットボトル、不燃ごみ 缶、ビン、資源ごみなど

独自メニュー

○「生徒会放課後清掃」

生徒会本部役員が中心となり、放課後清掃を企画し、有志の生徒たちと一緒に校内と隣接する歩道の清掃を行う。各学年が順番に実施をし、回数を重ねるごとに生徒たちの環境に対する意識の高さが感じられた。



○「保健環境委員による環境についての啓発ポスター作り」

保健環境委員会が環境に対する啓発ポスターを作成し、校内に掲示をした。



独自メニュー

○「ひらつか CO2CO2 プランへの参加」

本年度も多くの生徒が夏休みの課題として CO2CO2 プランに参加した。また、本年度より QR コードを読み取り、電子システムで提出することになり、取り組みやすかった。

○「大掃除・床のワックスがけの実施」

長期休暇の前に、保健環境委員会中心に数名の有志を募り、各教室の大掃除とワックスがけを行った。教室の環境整備に関心を高めることにつながった。参加後には、教室がきれいになった様子を見て、達成感を得ていた。

評価及び取組報告書

2025年 2月12日

平塚市立神明中 学校・園

学校（園）長 雨宮 英二

次のとおりわかば環境ISOの取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
● プラクル、再生紙、古紙の回収箱の設置 ● 使い捨てコンタクトレンズの空き容器の回収容器の設置	● 電灯のスイッチをこまめに消すように呼びかける	● 教室・職員室に、リサイクルするために分別できるゴミ箱の設置 ● リサイクルの徹底 ● 環境ポスターの掲示

独自メニュー

省資源活動

- 使い捨てコンタクトレンズの空き容器の回収
 - ・ 回収容器を各階トイレに設置して、空き容器を回収する。

緑化活動

- 緑の募金
 - ・ 6月10日(月)～14日(金)の4日間に、緑の募金を行った。
- 観葉植物の設置
 - ・ 各学級に1鉢、環境ISO委員会管理のもと、観葉植物を設置している。
栄養剤等を植物に与える機会を増やし、管理の意識を高めた。花が咲いたクラスもある。



独自メニュー

環境活動

- コツコツプランへの参加を呼びかけ
- ・ 夏休み前に用紙を配布する際に、
環境についての動画を視聴した。
- 環境ポスターを作成し、環境問題への取り組みをよびかけた。
- 教室換気の呼びかけ

評価及び取組報告書

令和7年2月28日

平塚市立金目中学校

学校（園）長 白井 裕之

次のとおりわかば環境ISOの取組結果を報告します。

評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
節水	節電	ごみの分別
独自メニュー ○ 資源の回収 インクカートリッジの回収 ○ 環境ISO強調週間の実施 環境ISO 強調週間を12月に設け、意識向上を図っている。 ○ 緑の募金活動の実施 登校時、東西昇降口の2か所で実施。環境委員が声を出し募金の呼びかけをした。 ○ ISO スローガンは校内2か所に掲示している。 ○ 環境委員や学級の係を中心に、教室移動の際、消灯や扇風機のスイッチを消す等の活動を励行している。 ○ 3月には大掃除の後で環境委員とボランティア数名でワックスがけをしている。 ○ 各クラスに燃えるゴミとプラクル用のごみ箱を設置しごみの分別に努めた。 ○ 「平塚CO₂CO₂プラン」へ参加の案内をした。 ○ 昨年度同様、毎月行うISO できたかなチェック、掃除用具の数量チェックをタブレット端末で管理した。専門委員会の際にはモニターを使用し報告した。 ○ 節水、節電、分別ポスターのラミネート化を継続している。		






評価及び取組報告書

令和7年2月25日

横 内 中 学 校

学 校 長 木村 一彦

下記のとおりわかば環境 ISO の評価結果を報告します。評価者のアドバイスを踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・紙の裏面利用（職員室・印刷室・各教室で分別） ・職員会議やそのほか可能な場面での電子化推進	・教室、廊下、トイレなどの節電 ・エアコン・加湿器・TV等の節約（職員室・各教室）	・各クラスに ISO ボックスの設置（紙の分別、資源化） ・職員室、印刷室での紙の分別、リサイクルの推進 （ペットボトル・プラゴミ・缶・ビン） ・ワックス用の容器としてペットボトルを使用

独自メニュー

- ・廊下の水道付近やトイレ付近に節水ポスター掲示（継続）
- ・みどりの羽根募金→6月に実施
6147円を「かながわトラストみどり財団」に募金。
- ・生徒によるボランティア清掃(3回)
- ・校内ボランティア清掃、地域ボランティア清掃、校内落ち葉拾い
- ・ボランティア清掃参加者に、ISOオリジナルキャラクターのシールを配布。
- ・CO2CO2プランへの参加
- 紙の分別及び裏面利用(ISO ボックス) 各教室用
- プラゴミ用のゴミ箱 ●印刷室の紙の分別
- 職員室でのゴミの分別

教科文化部発表会では ISO 委員会の活動報告を劇を交えて発表することができた。次年度へ引き継ぐ。

ボランティア清掃の様子（3回実施）

校内ボランティア清掃（7/4）学校周辺清掃（8/26）・落ち葉拾い(11/15)



評価及び取組報告書

令和 6 年 2 月 28 日

平塚市立旭陵中学校

学校長 柴崎 厚子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
・ 水道使用量の削減 ・ 用紙のリユース	・ 電気使用量の削減	・ 古紙の回収 ・ 清掃活動
独自メニュー		
・ 保健委員が各クラスで、毎月 CO₂CO₂ プランの目標を呼びかける。重点目標を設定し、ポスターも作成する。また、取り組み状況が分かるようにシールで「見える化」し、月ごとに重点的にできた取り組みについて共有した。 ・ 各教室に古紙回収ボックスとリユースボックスを設置し、保健委員がリサイクルボックスの回収を毎月 1 回行う。 ・ 職員室にごみ分別用のごみ箱・古紙回収・リユース用紙回収ボックスを設置する。 ・ 印刷室にリユース用紙の回収箱を設置し、裏紙の再利用を行う。 ・ 生徒会資料、職員会議資料などのペーパーレス化。 ・ 夏場、冬場のエアコンは、適切な温度に設定し、不必要な使用は避ける。 ・ 年に 2 回、清掃強調週間を設け、重点的にきれいにするポイントを決めて環境美化に努める。 ・ 自転車通学の生徒を中心とした駐輪場清掃。 ・ PTA 厚生委員とボランティア生徒による「ふれあいクリーン作戦」。 ・ PTA 行事である、制服リサイクルのバザー。 ・ 1 年総合的な学習の時間での「SDGs についての学習」。 ・ 科学部が給食の食べ残しを肥料として活用する。		



【 CO2CO2 プラン重点目標】



【 CO₂CO₂ プラン達成調査表】



【古紙回収、リユースボックス、保健委員による回収】



【駐輪場の清掃】

評価及び取組報告書

2025年1月 14 日

平塚市立金目小学校・金目中学校 五領ヶ台分校

学校(園)長 内藤 公彦 白井 裕之

次のとおりわかば環境ISOの取組結果を報告します。

評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
・可燃ごみとプラごみの分別。 ・水道の水を無駄に出しっぱなしにしない。 ・裏紙の利用。(個人情報に留意して、職員用に利用する。)	・教室を出る際に電気を消す。 ・エアコンは適温を心掛ける。 分校は教室の施錠がルールであり、教職員が最後に確認するため、消し忘れはほとんどありません。また、施設事務室の最終退出者が、コピー機・印刷機・エアコンなどすべての電気機器の確認をしてから退出しています。	・施設全体でペーパータオルを使用しているが、原則として1回1枚としている。教職員から子どもたちに対して、適切な使い方の指導をし、使いすぎないように常に声掛けをしている。

独自メニュー



【五領ヶ台分校内の様子】

特別教室を含め、すべての教室に可燃ごみ用とプラごみ用のごみ箱を設置しています。神奈川県内の様々な地域で生活してきた子どもたちですが、燃えるごみとプラクルの分別の必要性を学び、環境を大切にするために自ら分別してゴミ箱に入れていきます。また、洗面所は、自動水栓のため、1回に出る水の量は限られていますが、それでも夏場など水を出し続けようとする子もいるため、ポスターを貼ったり声掛けをしたりして、適切な水量を心掛けるようにしています。

独自メニュー



【施設内の様子】

五領ヶ台分校は、県立の福祉施設の中に設置された学校であるため、施設の方針に沿って分別が行われています。施設の通路には、誰もが利用できるように、わかりやすく専用の分別容器が設置されています。施設全体で分別が徹底され、それぞれの業者による引き取りが実施されています。分別の種類は、可燃ごみ・空き缶・ペットボトル・ペットボトルキャップ・プラクル・電池・シュレッダーごみ・ダンボール、OA紙・雑誌書籍・印刷カートリッジ・金属くず・粗大ごみなど10種類以上あります。また、産業廃棄物や大型不燃ごみは、年に数回、業者回収が行われます。分校でもそれに合わせて適切に処理しています。職員や入所している子ども達全員で分別に取り組んでいます。